

除菌
革命



付着菌も安全に除菌できる

濃度管理機能付きオゾン発生装置

回転電極発生体の耐久性UP!! (発生体が汚れにくい) ※特許取得済み

インフルエンザウイルス
コロナウイルス・花粉
対策に**最適**です

NEW

プラズマオゾン発生機

YS80-0ZS (N)



オゾン濃度を
自動制御
だから**安全**

発生体の
耐久性
がバツグン

最強の
除菌力

発生量 70mg/h

付着菌まで効果があるのはオゾンだけです。

「市販の空気清浄機の謳う除菌効果は、一義的にはそれらの機器が放出している特殊物質というより、それらが同時に放出しているオゾンによる殺菌効果で十分説明可能であること、が明らかになった。」

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター
西村 秀一氏論文 「感染症学雑誌ホームページ」より抜粋

本当に安全ですか？

従来のオゾン機器による安全性の問題

オゾンは有人下では濃度を0.1 ppm以下に制御する必要があります。

強力な脱臭・除菌力のあるオゾンは高濃度で長時間使用すると人体に悪影響を及ぼします。

濃度
管理

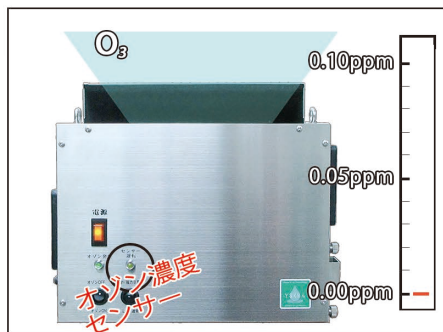
安心してご利用いただくために

世界一安全な【オゾン濃度自動制御システム】

【オゾン濃度自動制御システム】・・・選べる8パターンでオゾン濃度を自動制御します。

設置例：オゾン濃度を上限値0.04 ppm、下限値0.02 ppmで設置した場合。

オゾン濃度が0.04 ppmになるとオゾン発生を自動で停止し、0.02 ppmになると再発生します。



※オゾン濃度の上限値設定は、有人使用時0.1 ppm、無人使用時0.18 ppmまで変更できます。
※オゾンは空気より重いため、お部屋の上方部に設置して下さい。
※0.01 ppmでもじっくり時間をかければ除菌は可能です。

飲食店

人のいるところでも安心して使えます

オフィス

ウイルス対策

感染症予防

病院・待合室

介護施設

美容院

花粉症対策

除菌

脱臭

【上手な使用方法】

- ・有人時はオゾン管理機能をON、夜間等人が居なくなる時間は、濃度管理機能をOFFに設定。
- ・朝入室した時に濃度管理機能をONにしてご使用下さい。

※無人時に隔々までよく除染され有人時に繋がります。

オゾンは発生し続けますか？

【メンテナンスの問題】

業界初

放電部に異物が付着（固着）せず・堆積しにくい

メンテナンスが簡単

オゾン発生機は、最初はどのメーカーの機器も設計通りのオゾンを発生しますが、従来の固定放電等の発生体は時間の経過とともにオゾンを発生する**心臓部のオゾン発生体**に色々な異物が付着・堆積してしまい、**水洗いやメンテナンスをしないと数週間から数か月でオゾンの発生量が減少し、しまいに発生しなくなります。**

YS80-OZS(N)は、**心臓部に回転放電式発生体（特許）**を採用しているため、異物の付着や、堆積が殆ど無く、**放電部のメンテナンスは3～5年に一度行えばOK**です。

- ・使用環境が良い場合、発生体のメンテナンスは5年以上不要です。（放電部に汚れが溜まった場合簡単にメンテナンスできます。）
- ・オゾン濃度センサーは、最短1年で交換が必要です。（お客様にて交換可能）

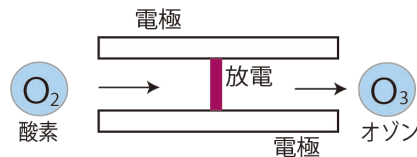
【オゾンの出来る仕組み】

オゾンを生成する主な方法に放電方式（固定）があります。酸素分子を放電エネルギーで酸素原子に分解（乖離）させてオゾンを生成します。



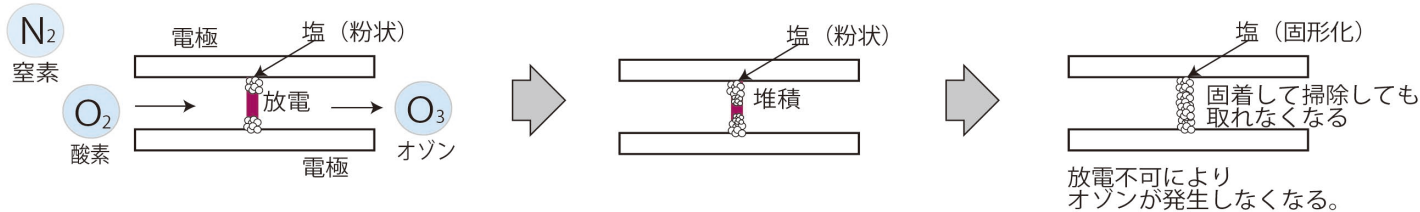
【固定放電式の発生体の問題点】

この時、問題になるのが空気中に78%含まれる窒素です。オゾン生成時にこの窒素と湿気が反応して白い粉状の異物（塩の一種）が少量ですが生成されてしまいます。



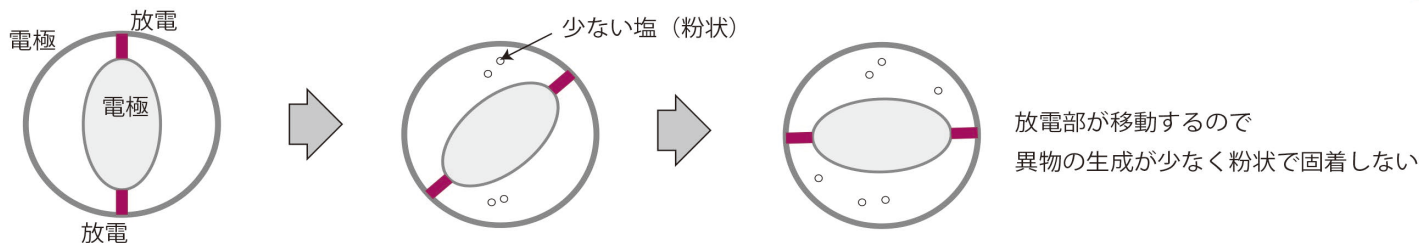
定期的いきちんとメンテナンスしないとオゾンを発生しなくなってしまいます。

また、長期メンテナンスを怠ることにより固形化してしまい固着することでメンテナンスしてもきれいに取り除くことが出来なくなってしまいます。



【回転放電方式の発生体を採用】

弊社ではこの異物の生成を極力抑えることのできる回転放電方式の発生体を採用しています。



オゾン除菌のメリットと現状

オゾンは強い除菌・脱臭分解力を有しています。除菌に関しては細菌のDNAを壊し分解するため、耐性菌を生みません。脱臭に関しても匂い成分そのものを分解します。酸素からできているため役目を終えれば酸素に戻り残留しないので無害で、食品の除菌にも使用されています。用途としては食品工場の浮遊菌の除菌などが多いです。またオゾンは濃度によってはその効果が強くなるため、基本的には無人の夜間状態での使用が普通です。 ※有人時の使用の場合は空間濃度は0.1ppm以下であることが望ましいです。

YS80-OZS(N)の濃度管理自動制御機能

本機は、オゾン濃度センサーを搭載することによりオゾンの発生を安全に制御(0.1ppm以下※変更可能)します。有人時の場所でも24時間安心してご利用頂けるよう開発された製品です。もちろん、オゾン濃度制御運転をOFFにすることも出来ますので従来どおりの無人での全開運転も可能です。



お考えですか? 新型インフルエンザ対策

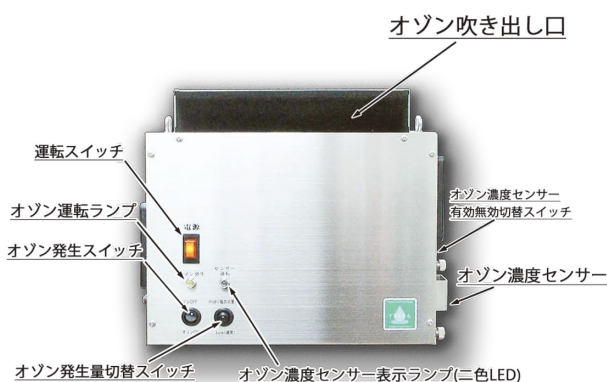
オゾンガス0.1ppmを3時間(180分)以上(ct値18)曝露する事により99.7%以上のウイルスの不活化を確認する事ができた。

ウイルス感染価の不活化率とCT値

不活化率	92.9%	99.0%	99.7%
オゾンガス濃度 (ppm)	0.1ppm	0.1ppm	0.1ppm
処理時間 (min)	60min	120min	180min
ct 値…※①	6	12	18

※①…CT値=作用時間(分)×オゾンガス濃度(ppm)

各部の名称



YS80-OZS(N)の特徴

- オゾン発生量の調整が2段階方式で分かりやすい。
- オゾン濃度センサーの精度アップ。
- オゾン発生量のパワーアップ。
- 選べる8パターンでオゾン濃度を自動制御。
- さまざまな環境に合わせた運転が可能。

仕様

型 式	YS80-OZS(N)
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	29W/30W
オゾン発生量	50mg/h (Low) 90mg/h (High) 標準空気において(5℃、湿度50%以下、1気圧)
オゾン発生量調整	オゾン発生量切替スイッチ(2段階)
オゾン濃度運転	工場出荷時設定：0.04ppm OFF 0.02ppm ON ※1 有人時：6段階運転(ダイヤルの数字が小さい時ほど高濃度) 0.01~0.10ppm運転(ダイヤル7~2：出荷時5) 無人時：2段階 0.15~0.18ppm(ダイヤル1~0) 濃度センサー寿命警報あり(オゾン強制停止)・連続運転切替可能。
風 量	0.54m ³ /min(50Hz) 0.80m ³ /min(60Hz)
周囲温度・湿度	0~40℃、80%以下
外形寸法	W260 × H220(260※吹き出し部) × D120
有効除菌スペース	140m ³ (25℃) 天上高2.3m※2
重 量	4.5kg

※1 上限信号(0.04ppm)感知後、オゾン停止。13秒後ファン停止。
下限信号(0.02ppm)を感知すると運転再開(オゾン発生)

※2 有人時は、0.1ppm以下になってゆっくり除菌脱臭を行った場合の有効除菌脱臭スペース

※ オゾン濃度センサーは最短1年で交換が必要です。(お客様にて交換可能)
※ 発生体に回転電極発生体方式を採用。

【販売店】